

防犯ボックスだより 2021年 5月号

子供を守るためには「見守り」と「教育」が大事です

入学・進級により生活環境が変わったお子さんも多いかと思います。
これまでは、いつも家族と一緒にだったのに、子供たちだけで行動するようになったり、自転車を使い、これまで行かなかった地域まで足を延ばすようになったお子さんもいるでしょう。
これらは成長の証かもしれませんが、この時期は、子供を狙った犯罪や事故に気を付ける必要があります。

〈見守り活動〉

防犯ボックスで勤務するセーフティアドバイザー（SA）は、保護者、防犯組合、防犯ボランティア、警察など、多くの方々と共に、子供の見守りを行っています。
最近では、子供の登下校時間に合わせて、ウォーキング、買物、犬の散歩、花の水やりをしながら子供を見守る「ながら見守り活動」を行う方もいらっしゃいます。
今日からできる見守り活動、地域全体の力で子供を守りましょう。

〈家庭での防犯教育〉

家庭で行う防犯教育の第一歩として「合い言葉」による防犯教育はいかがでしょうか。

今月は、危険な場所を見分ける合い言葉「ひまわり」を紹介します。

- ひ とりだけになる場所
- ま わりから見えない場所
- わ か れ 道、裏道がある場所
- り ようされていない家や空き地がある場所



家族で自宅や遊び場の近くの「ひまわり」を探して、発見したら、その場で、お子さんに防犯上の注意を教えてあげてください。

〈連絡先〉

- (1) 茂原市防犯ボックス（毎日12:00～20:00（年始を除く））
Tel 0475-23-8171
- (2) 茂原市役所 市民部 生活課（月～金8:30～17:15）
Tel 0475-20-1505